2021 年

二葉幼稚園　園のたより　9月

9 月 の 聖句

わたしがあなたがたを あいしたように
あなたがたも たがいにあいしあいなさい

ヨハネ13章34節

9 月のさんびか

ロケットにのって　　こどもさんびか改訂版109

心かよわせて

心かようとはどんなことでしょう？子ども達に尋ねるとどんな風に答えるでしょうね。楽しみです。８月にわずか4回実施できた子育て支援「みんなあつまれ」。初めて出会った子ども達とも、遊びを通して、心が躍り、目が合って、思わず同時に笑顔がこぼれる瞬間！がいくつもありました。初対面の朝はどきどきの表情だった子ども達。徐々に慣れ、先生達に心を許し、色んな表情が現れ、帰る頃には笑顔で「またね」と手を振る姿に、新しい出会いの喜び･幸せを感じました。

子ども達と綴る毎日には、いくつもの忘れられないシーンがあります。その一つ。
家族思いで心優しい ❖ 君。ある時、友達とトラブルになり、思わず友達を叩いてしまいました。乳幼児期にはよくあること。「しまった！」と身体や表情がこわばっていました。双方の話を聴いて気持ちに寄り添い、傍で見守りました。じ～っと動かない ❖ 君。 ❖ 君の両手をそっと握って「 ❖ 君の手は、神さまにお祈りができる手。誰かが泣いているとよしよしってする優しい手。素晴らしいものを生み出す手。この手も、❖ 君も、先生大好きだよ･･･。」
コクン コクンと頷く ❖ 君の目からは、大粒の涙がぽろぽろ。園の中で出会う度、にこっと笑い人なつっこく話しかけてくる ❖ 君。しばらくたったある日、友達と思いのすれ違いからトラブルになりました。気持ちが落ち着いた時、❖ 君はぽつりと言ったそうです。「園長先生と約束したのに･･･」

私達大人だって、生きていく上で幾度となく同じ過ちを繰り返しています。なのに時々、我が身を忘れて、つい我が子には「も～、何回言ったらわかるの？」とか「1回でいうこときいてよ」な～んて言っちゃったりして。そんな時内心よく思ったものでした。「でもさ、1回でピシッと変わるのも何だか心配？」と。すると先程の怒りが若干拍子抜けして「ま、親が私なら子も子だわ」と我が身を慰めたり･･･。でも近頃思うんです。大切なことは、思いの外心に届いてるものなんだと。

世界では、この夏も災害や紛争、感染症で命がけの日々を送る人々がいます。突然の痛ましい事件や愛する人を失なう方々も後を絶ちません。もどかしいけれど今置かれている所で、できることを何か実践したい。その一方で、幾度も襲い来る不安、ご実家はもとより誰かに助けを求めることすら困難な生活の中、頑張りすぎてはいませんか？隣の芝生が今まで以上に青々しく見えてはいませんか？ちょいとお隣さん、お宅の芝生も頑張りすぎではないでしょか･･･。
きっと誰もが、どこか疲れてる。助けを求めてる。ホントはね、って泣きたい気持ちこらえてる。
子ども同士もそうだけど、お母さん同士も、どうぞ心かよわせて。「目は 口ほどにものを言う。」
あなたがそこにいるだけでホッとする人がきっといる。背伸びしなくていいんです。唯、そこにいるだけで。今年は東京 2020：祈国際平和。ふたばっこフェスタのテーマは「ぎゅっ！」【園長】